

清水文雄 しみずのり 國文學者。明治二十六年六月八日生れ（一九〇二）。昭和七年廣島文理科大学卒。學友の池田勉、蓮田善明、栗山理一と研究紀要『國文學武論』(國文學武論編輯所編、第四輯「日本作家論」昭和十一年七月一日春陽堂書店)を刊行し、十二年には雜誌『文藝文化』を前記同人と創刊。同誌の學務院の教へ子に島田紀夫の「花」の「森」を推薦連載したことは有名。うち廣島大学教授。

著書に『女流日記』(昭和十五年七月五日千代文書房「文藝文化叢書」)、『和泉式部日記』(校訂、昭和十六年七月一日千代岩波書店「岩波文庫」)、『戀船漂流記』(校註、昭和十七年一月千代春陽堂書店「新文庫」)、『海のめづは—歴代愛國和歌集』(校註、昭和十七年二月一日千代春陽堂書店「新文庫」)、『口譯對照首級日記』(校註、昭和十七年十一月十八日春陽堂書店「新文庫」)、『和泉式部歌集』(校訂、昭和二十一年二月五日岩波書店「岩波文庫」)、『和泉式部集 和泉式部続集』(校註、昭和五十八年五月十六日岩波書店「岩波文庫」)、『隨想集』、『河の音』(昭和四十一年二月一日廣島・王朝文學の会)等。

